

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 5月

令和5年5月1日の推計人口 1,270,964人
世帯数 558,351世帯

参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年5月1日現在の推計人口は、1,270,964人で、前月(1,270,358)に比べ606人の増加となった。

市部では、佐世保市(614)、対馬市(127)、壱岐市(99)、五島市(82)、諫早市(74)、大村市(72)、島原市(58)、雲仙市(29)、西海市(24)の9市で増加し、長崎市(363)、南島原市(111)、平戸市(65)、松浦市(47)の4市で減少した。

郡部では、時津町(119)、新上五島町(3)、小値賀町(2)の3町で増加し、佐々町(37)、波佐見町(34)、川棚町(17)、東彼杵町(13)、長与町(10)の5町で減少した。

自然動態は、出生数545人、死亡数1,396人で851人の減少、社会動態は、転入者数7,683人(県内転入を含む)、転出者6,226人(県内転出を含む)で、1,457人の増加となった。

2 世帯数

令和5年5月1日現在の世帯数は、558,351世帯で前月(556,328)に比べ2,023世帯の増加となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 3月

1人当たり現金給与総額 256,149円
対前月比 5.1%増加
対前年同月比 0.6%増加

1 賃金

3月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は256,149円で、前月に比べ5.1%増加し、前年同月に比べ0.6%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は243,506円で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ1.8%増加した。

特別給与額は12,643円で、前年同月に比べ、2,681円減少した。

2 労働時間

3月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は148.9時間で、前月に比べ4.0%増加し、前年同月に比べ2.2%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は137.0時間で前月に比べ3.6%増加し、前年同月と比べ、1.5%増加した。

所定外労働時間数は11.9時間で、前月に比べ8.1%増加し、前年同月に比べ10.2%増加した。

3 雇用

3月の常用労働者数は210,481人で、前月に比べ、2.4%増加し、前年同月に比べ1.2%増加した。

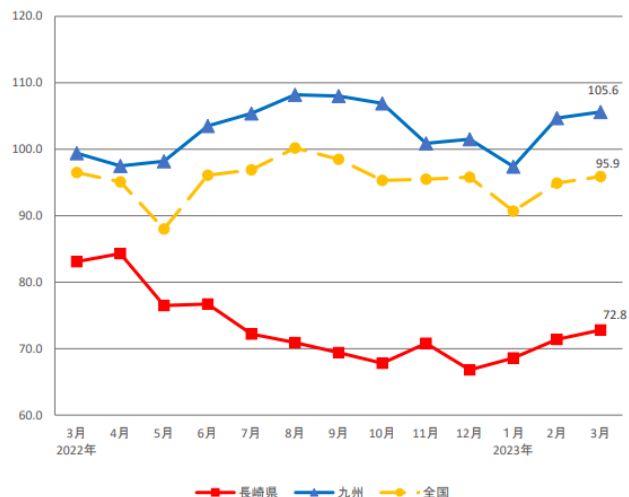
【鉦工業生産指数】…………… 3月

令和5年3月の鉦工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数	前月比	原指数	前年同月比(%)
		(%)		
長崎県	72.8	2.0	77.8	8.8
九州	105.6	0.8	115.3	6.2
全国	95.9	1.1	106.5	0.6

鉦工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年3月の鉦工業生産指数は、季節調整指数が72.8で対前月比は2.0%の増、原指数は77.8で対前年同月比は8.8%の減となった。

業種別にみると、繊維工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業など6業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、食料品工業、窯業・土石製品工業など7業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
繊維工業	18.5	漁網・陸上綱
電子部品・デバイス工業	14.5	半導体集積回路
電気機械工業	13.5	交流電動機

主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	35.4	蒸気タービンの部品・付属品
食料品工業	12.5	その他の調味料
窯業・土石製品工業	1.9	生コンクリート

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 4月

総合指数(R2=100)	104.5
対前月比(%)	+0.4
対前年同月比(%)	+3.1

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、104.5である。

前月比+0.4%で、主な上昇要因は「食料」の+0.8%、「被服及び履物」の+2.0%であり、主な下落要因は「交通・通信」の0.4%、「家具・家事用品」の0.6%である。

前年同月比は、12月は+3.7%、1月は+4.0%、2月は+3.1%、3月は+3.2%と推移した後、4月は+3.1%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は104.1で前月比+0.4%の上昇であり、前年同月比は+2.9%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.8%
被服及び履物	2.0%
教養娯楽	0.7%
光熱・水道	0.6%
保健医療	0.7%
住居	0.1%
教育	0.6%

下落した費目

諸雑費	0.1%
家具・家事用品	0.6%
交通・通信	0.4%

上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 4月

消費支出(一世帯当たり)	294,289円
前月比	22,114円減(7.0%減)

令和5年4月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は294,289円で、前月比7.0%の減、前年同月比は19.2%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は64.0%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。